

平成22年度
(第三四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面) 売上面においては前年比101.9%、目標比100.9%の実績でしたが、経常損益について計画としても損失予測ではあったものの下記業績の概況の通り大きく割込む状況となりました。ドラッグ流通ドリンク需要増にて売上貢献はありましたが、粗利面での全体収益の減に加え、呉羽工場投資における今期からの償却負担等が大きく響き、第三四半期は、結果として経常損失となっています。

(事業運営面) 10月度より医薬品事業部、グローバル事業部、及び1月度より、OTC事業部の営業部門について、部内組織の改編および人員増等のライン強化により、総力を挙げて年度目標達成に向っています。

課題への取組み

新中期経営計画の下、人材及び設備投資は年度計画で遂行しています。一方、売上目標は結果的に到達してはいますが、3ミッション(グローバル&医薬事業・ヘルスケア事業・コンシューマ事業)中における売上割合のバランスが悪く利益率低下を招いている状況であることより、新設工場を含め三工場での(生産)稼働率アップ及びドラッグ流通以外のライン部門でのバトルプランの実践を推し進めています。

トピックス、適時情報

1. 富山駅前CICビル5階の(株)広貫堂直営『薬膳カフェ 癒・楽・甘 春々堂』にて、医薬品の販売を開始。(10月7日)
2. 第一回富山・バーゼル医薬品研究開発シンポジウムが開催されました。「先端的医薬品製造」のセッション内で、当社開発本部が講演を行いました。(10月12日～14日)。

業績の概況 (広貫堂・単体) (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	7,443,377	7,914,672	8,092,437	8,244,576
経常利益	477,088	566,165	163,873	-150,462

広貫堂グループ

連結経営成績に関する定性的情報

売上面においては前年比103.8%で推移。しかしながら広貫堂本体の損益を起因とする売上原価(製造原価)のコストアップが6億6千万円となっています。全社コスト削減に取り組んではいるものの効果が十分でない状況であり、更なるコスト削減意識の高揚及び、各部署における具体策の徹底を図っています。そのため今期の損失を解消すべき対策として2月～3月度において全社一丸となった売上増強プログラムを実施致します。平成24年中期経営計画最終年に向けての平成22第4四半期、及びステップとしての平成23年度経営計画の遂行でありますので経営計画目標達成を視野に捉えて推進してまいります。

業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	9,547,426	10,046,748	10,012,186	10,399,273
経常利益	512,231	737,132	373,682	-43,983

平成22年度
(第三四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

主要製品の葛根湯内服液は順調に推移し、新製品(2種)も導入しましたが、残念ながら売上高は昨年比98.8%、経常利益は目標比60%で第三四半期を終えました。

(事業運営面)

重点製品および新発売製品のエリア別販売戦略を基本とする営業展開の更なる徹底を目指すとともに、消費者ニーズにマッチした製品開発を進めていきます。

トピックス、適時情報

第三四半期の新製品として下記製品を発売した。

1. 第2類医薬品 : アイガン (新法対応)
2. 第3類医薬品 : ソイビオ

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	3,649,317	3,059,774	2,857,614	2,822,681
経常利益	-32,063	64,851	95,637	57,384

日本薬剤 株式会社

事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、昨年発売したアルミ缶飲料、パウチ飲料、医薬部外品ドリンクおよび本年度新発売した、かぜ薬、100mLドリンクなどが寄与し、昨年同期比461,675千円増の3,182,650千円となりました。また経常利益も売上増により、昨年同期比20,927千円増の113,454千円となりました。

(事業運営面)

メディカルサポート事業部およびヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めております。年間を通じて順次製品を上市しています。

トピックス、適時情報

新発売(4～12月)

- かぜ薬 1アイテム
- 点眼薬 2アイテム
- 100mLドリンク 4アイテム

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	2,162,581	2,279,548	2,720,975	3,182,650
経常利益	91,369	53,498	92,527	113,454

平成22年度
(第三四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

廣貫堂産業 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)売上高は、廣貫堂および各グループ会社からのPC等の発注が増加した為に、内販売上が大幅増となりました。また外販売上・保険売上もほぼ計画通りとなりました。よって売上全体としては計画よりも12,970千円余の増加となりました。経常利益は、売上増並びに経費の削減等により、マイナス計画が改善し6,484千円余の利益が計上できました。

(事業運営面)「懸場物語プロ」を4月、9月、「懸場物語ジュニア」を11月に納品を行い、問題なく運用され顧客満足を得ています。10月には新規の受注(「懸場物語プロ」)をいただきました。また数社より導入を前向きに検討する旨の話をいただいております。

トピックス、適時情報

1.対面販売での顧客信頼度を生かし顧客の健康と癒しをキーワードとした”顧客価値”、”企業価値”、”健康価値”、”人材価値”、”製品価値”、”サービス価値”を創生する新しい「配置販売ビジネスモデル」と「顧客価値経営システム」の構築に向けて作業(次年度に向けて計画立案)を行っております。

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	63,100	137,040	72,653	110,516
経常利益	3,319	10,224	-10,845	6,484

広貫堂メディアーズ 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)
新商品、既存商品の販促強化に努めましたが、健康飲料の販売不振や一部商品の大幅な落ち込みにより、5,188千円の減(前期比97.8%)となりました。また、経常利益は、経費の削減、前期実施事業の廃止等により、前期より大幅に改善いたしました。

(事業運営面)
ホームセンター向け「ベストファイトウコン」の販売強化び、「富山廣貫堂やくぜんカレー」の各販売個所の拡大を行っております。

トピックス、適時情報

1.県内、県外の展示商談会に参加し、「サンリキソドリンク3000」、「健康ペット飲料」、「やくぜんカレー」の販促に努めました。
2.平成22年度地域産品販路開拓機会提供支援事業にエントリーし、「富山廣貫堂やくぜんカレー」の首都圏、中部、関西の販路開拓を行っております。
3.北陸銀行ボーナス企画に「富山廣貫堂やくぜんカレー ポーク」が採用されました。

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	271,121	383,948	243,857	238,669
経常利益	17,594	6,858	-49,225	-5,352

平成22年度
(第三四半期)
グループ各社

広貫堂グループ IR情報

広貫堂薬品販売 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第三四半期(4月～12月)販売面では、前年同月1,380,139(千円)に対し1,455,087(千円)前期比105.4%、利益面では前年同月7,076(千円)に対し-24,671で推移しました。富山支店での開発推進部の新懸け、ベンダー事業等での先行投資による経費負担増が起因していますが、第4四半期並びに23年度については売上増が期待出来ます。

(事業運営面)

新任のエリアマネージャーを3名選任し、支店長2名、エリアマネージャー4名体制で担当懸場を持ちながら運用して行きます。又、支店長には新規事業の立案と取り組みをミッションとし行っています。

トピックス、適時情報

- 10月の人事異動に伴いAM3名を選任し、10月より12月まで毎月本社にて新任AM研修を行う。
- 23年度新卒者を11名採用、23年4月より開発推進部に配属予定。

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	1,304,698	1,365,627	1,380,139	1,455,087
経常利益	-62,685	11,938	7,076	-24,761

トキワ広貫堂 株式会社

事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第三四半期、販売面では、前年同月286,083(千円)に対して270,423円(千円)前期比94.2%となり、健康食品のセット販売等を縮小した事と市場の価格競争による入替売上の低迷が前期比を下回った要因となりました。又、キャッシュフロー面では売掛金の回収が順調な事から計画通りに推移しています。

(事業運営面)

「ドリンク事業」を本年度に立ち上げましたが、さらに発展させる為に広貫堂薬品販売より成功事例を学び、呼び名も「ベンダー事業」と変更し市場での口座数拡張を図ります。

トピックス、適時情報

- 平成23年2月23日(水) 沖縄県医薬品配置協議会主催第2回資質向上研修会
- 平成23年5月 新商品「サンリキソZ3000」発売開始

業績の概況 (第三四半期、平成22年4月～12月)

(千円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	199,909	269,692	286,977	270,423
経常利益	-6,078	-14,622	-1,824	-16,056